



巻 頭 言

Foreword

代表取締役社長 前 田 七之進
President Shichinoshin Maeda

近年、自主技術の確立が各方面で強くさげばれております。これは、わが国の企業が、開放経済体制の時代を迎え、国内のみならず、国外における激しい競争に打ち勝ち発展していくためには、技術開発力を育成強化し、自分自身の技術を確立しなければならない情勢に立ちいたっていることを意味するものであります。

戦後のわが国の産業技術は、欧米先進国に比較すると非常におくれておりましたため各企業は、積極的に海外の技術を導入し、これを消化改良することによって、急速に欧米先進国の水準に近づき、わが国の経済社会に大きく貢献してまいりました。

しかしながら、技術水準の向上、経済の国際化等に伴い、従来のように必要な技術を有

利な条件で入手することが次第に困難になってまいりました。

従って、今後、技術の分野でも一層熾烈さを増してくる企業間競争に打ち勝つためにも、また、電機産業界において特色ある地位を占めるためにも、従来からの、西独シーメンス社を初めとする各国のすぐれた技術を吸収する一方、自ら独創的な特色ある製品を開発していくことがより一層必要であると痛感いたします。

技術力は企業の生命であり、これなくして企業の進歩発展はあり得ません。当社といたしましては、今後、より一層研究開発体制を充実し、技術開発の努力をしてまいりたいと存じております。なにとぞ一層のご愛顧、ご支援を賜わりたくお願い申し上げます。



＊本誌に記載されている会社名および製品名は，それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。